

分裂した王国

イスラエル（北） - ユダ（南）



列王記上 12章 - 列王記下 7章

第14課: 分裂した王国

イスラエル（北） - ユダ（南）

聖書

書	章	著者	年
列王記上	12 - 22	不明	紀元前550年
列王記下	1- 7	不明	紀元前550年

概要

ソロモンの死後、イスラエルは北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂しました。人々はエリヤやエリシャなどの預言者の声に耳を傾けず、道徳的・霊的な衰退へと向かっていきます。北王国は、偶像崇拜と不正が続いた結果、最終的にアッシリアによって滅ぼされました。

レジュメ

王国の分裂

- ソロモンの息子レハベアムの厳しい政策により、イスラエルは二つの王国に分裂した - 列上 12:1-2
- ヤコブは預言した。「王権はユダを離れない」と。この部族からメシアが現れると - 創世記49:10

二つの王国

位置	名称	首都	部族
南の王国	ユダ	エルサレム	ユダとベニヤミン
北の王国	イスラエルまたはエフライム	サマリア	アシェル、ダン、エフライム、ガド、イッサカル、マナセ、ナフタリ、ルベン、シメオン、ゼブルン

偶像崇拜と不滅への墮落

- 北王国のヤロブアムがベテルとダンに金の子牛の像を建立し、イスラエルを偶像崇拜へ導いた - 列上 12:25-33
- 神はユダから預言者を遣わし、ヤロブアムの偶像崇拜を糾弾した。彼の手は萎えたが、後に癒された - 列上13:1-6
- ユダにおけるレハベアムの治世は、ヤロブアムとの戦争が特徴である - 列上 14:21-31
- イスラエルでは様々な王が統治し、しばしば民を偶像崇拜と罪へと導いた - 列上 15:25-16:28

アハブとエリヤ

- アハブ王と妻イゼベルがイスラエルでバアルという偽りの神への礼拝を推進し、預言者エリヤが彼らに挑む - 列上 16:29-19:21
- エリヤがカルメル山でバアルの預言者たちを打ち負かす - 列上 18:20-40
- イゼベルがナボテの殺害を企て、アハブ王が彼のぶどう畑を奪う - 列上 21:1-16
- ミカヤの預言通り、アハブは戦いで死ぬ - 列上 22:29-40

エリシャ

- エリヤは旋風に乗って天に上げられ、エリシャが後を継ぐ - 列下 2:1-18
- エリシャは奇跡を行う。水の浄化やシュナムの女の息子の復活を含む - 列下 2:19-4:37
- シリアの軍司令官ナアマンはヨルダン川で身を洗うことでらい病を癒される - 列下 5:1-19
- エリシャはサマリア包囲戦の終結を預言し、その預言は実現し、彼はその成就を導いた - 列下 6:24-7:20

1. 指導者として、私たちは賢明な助言を求め、謙虚であり続けねばなりません。高慢な決断は人間関係と未来を損なう可能性があります。
2. 心を妥協から守りなさい。些細な不誠実が道徳的衰退へとつながります。
3. 神の恵みに応えて変化しなさい。神の忍耐は現状維持を容認するものではありません。